

2026年度 岡山県スキー連盟 秋季評議員会 議事次第

令和7年11月22日

於 瀬戸公民館

1 開会挨拶

2 議長選出

3 報告事項

- (1) S A J 評議員会報告
- (2) S A J 西日本ブロック協議会報告
- (3) 岡山県スポーツ協会報告
- (4) 各本部活動報告（総務・競技・教育）
- (5) その他

4 審議事項

- (1) 2025年度 連盟会計決算（案）及び監査報告
- (2) 各本部事業計画（総務・競技・教育）
- (3) 2026年度 連盟会計予算（修正案）
- (4) 岡山県スキー連盟 名称変更について
- (5) 連盟規約の改正について
- (6) 加盟団体からの提案事項
- (7) その他の事項

5 連絡事項

6 閉会挨拶



Introduction

はじめに

はじめに

SAJでは私たちの存在意義である**MVV**を策定しました。

①MVVの稼働→アクションの推進

100周年をきっかけに、私たちの使命「**雪を極め、雪を拓める**」でスノースポーツが日本中を勇気づけ、より多くの人を笑顔にするため、私たちは**MVVを稼働・推進**を開始します。

これまでのMVVの構築過程で、私たちの存在意義や考え方を言語化して参りましたが、これからは実際にこれを稼働させ、アクションに落とし込む段階に入ります。

②100年の歴史を次の100年へ →想いの発信・共有

MVVに込めた想いやその先にある多くの人々の笑顔を実現するためには、それを広く発信することが必要です。直感的に受け取りやすいブランドにするため、整理・再構築を行います。

1) 未来へ向けた GOALの言語化・人々を巻き込むスローガンの設定

2) 100年間愛されたロゴに想い込める VIシステムのリニューアル

スノースポーツの魅力を伝え、盛り上がるスノースポーツでみんながー丸となり誰もが憧れ楽しめる最高のスポーツへと成長させるため、プレーヤー、競技関係者、支える人、各都道府県連盟、教育の現場だけでなく、より多くのファンや観る人、スポンサーなどすべての関係人口の裾野を広げMVVの効果を最大限に発揮させましょう。



SAJ - MVV next step

MVV浸透策

Phase 1(これまで)
MVV策定＝組織(SAJ)の存在意義の言語化

Phase 2(これから)
MVV稼働＝アクションの推進・目指す未来に向けて

MISSION
(使命)

雪を極める。雪を拡める。

VISION
(役割)

強化

SPORTS TO
WIN

世界で愛される強い選手を育て続ける。
→日本選手の活躍で、見る人や支える人、みんなを笑顔にする

普及

CULTURE TO
ENJOY

スキー・スノーボードを、冬の国民的スポーツへ。→笑顔を広げるためにスノースポーツとの接点を増やす

共創

HUB TO
CONNECT

スキー・スノーボードを持続的に楽しめる環境を整える→多くの人の笑顔のために持続的な環境づくり

VALUE
(行動基準)

ワクワク
EXCITEMENT

変革
INNOVATIVE

世界基準
GLOBAL

相互理解
RESPECT

自他共生
TOGETHER

NARRATIVE
(SAJの想い・根拠／土台となるもの)

スノースポーツが極められ・拡まった未来へ。原田会長の想い(仮)スノースポーツは、それがどのレベルであっても「雪遊び」であってほしい。楽しくなければ続けない、楽しくなければ拡がらない。幼い頃に感じた雪と触れ合う喜びを多くの人と共有し、みんなの笑顔が雪山から日本中に行き渡るように。

SAJの存在意義

MVVの稼働・アクションの推進
(それをサポートする仕掛け)

SAJの目指す未来 (GOAL)

MVV

さあ、雪ましょう！
(LET'S SNOW!)

組織内外の人々を巻き込む
合言葉 (SLOGAN)

ロゴのリニューアル

視覚的な分かりやすさ
(VIシステム)

「スノースポーツでみんなを笑顔に。」

(目指す未来を言語化したもの)



**SKI & SNOWBOARD
ASSOCIATION OF JAPAN**



1) OUR FLAG, OUR SMILE

ロゴに込めた想い

世界の舞台で活躍する選手がみんなを笑顔にする。
その原点となるべき誇りを表現したロゴデザインで
あり、オリジナルロゴの現代的な解釈。

ダイナミックにはためく日の丸に視点をズーム。

水色は、全ての人の頭上に広がる晴れ渡った冬の空であ
ると同時に、我々が挑戦すべき雪山を表現。

斜めに組んだ文字組は、どのような斜面も滑り降りる
強い意志。それぞれの文字についた羽は、滑降のスピー
ド感だけでなく、繊細で強靱な技術クオリティの高さを表
現している。

EXTENSION MODULE

1:0.5



Tagline / Slogan Example

キャッチコピー・スローガン事例

「さあ、雪(ゆき)ましょう」のポイント 🙌

1. 記憶に残る“ひっかかり”

「日常語とのズレ」「ひねり」「語感の柔らかさ」を融合させることで、生まれる強力なひっかかりを狙う。

「さあ、行きましょう」という、誰もが知っている定型句を「雪」に差し替えることで、違和感と納得感を共存させ、強く記憶に定着させる。

2. “自分ごと化”を促す構造

「～しましょう」＝共同行動への誘いを表現することで、見た者・聞いた者が一瞬で「これから行動する側」にまわる構造。

応援や鑑賞の立場から「共有」「共創」の一員へと、意識を自然に一步踏み出すことができる。

各種ステークホルダーのエンゲージメントを自然に高めるに寄与。

3. 反復と展開に耐えうる“伸びしろ”

「さあ、雪ましょう」をベースに
「勝ちに雪ましょう」
「楽しく雪ましょう」
「サステナブルに雪ましょう」
「未来へ雪ましょう」
など、ターゲットやステークホルダー、チャネルに応じた展開が可能。

また、短く軽やかな表現であることから、SNSや会話での引用適性が高い。

誰もが自分ならではの「雪ましょう」を語りやすい設計。

第 2 号議案

公益財団法人全日本スキー連盟の名称変更について

変更を提案する理由

1998 年に開催された長野オリンピックでスノーボード競技が正式競技になって以降、スノーボードは全世界においてスノースポーツとして十分に認知されました。スノーボード競技の昨今の日本人選手の活躍は目覚ましく、選手の知名度も非常に高く、メディアが積極的に取り上げるテーマにもなりました。

このことから、スノーボードをスキー競技の一種目として扱うのではなく、本団体名にスノーボードを明記することで、外部へのアピールにつながると考え本連盟の名称変更を提案いたします。

提案内容

日本語表記 : 公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟

英語表記 : SKI AND SNOWBOARD ASSOCIATION OF JAPAN

英語略称 : SAJ

参考

上部団体である国際スキー連盟は、2022 年に名称を INTERNATIONAL SKI AND SNOWBOARD FEDERATION に変更し、略称は FIS のままとしています。

令和8年度 理事会書面審議（令和7年9月26日）

令和8年度 定時評議員会（令和7年10月18日改正予定）

新旧対照表

現 行	改 正 案	備 考
001 公益財団法人 全日本スキー連盟 定款	001 公益財団法人 全日本スキー・ <u>スノーボード連盟</u> 定款	令和8年8月1日から（令和9年度から）名称変更する。附則にて説明。
第1章 総 則	第1章 総 則	
(名 称) 第1条 この法人は、公益財団法人全日本スキー連盟と称し、英文標記は SKI ASSOCIATION OF JAPAN(略称SAJ)とする。	(名 称) 第1条 この法人は、公益財団法人全日本スキー・ <u>スノーボード連盟</u> と称し、英文標記は SKI <u>AND SNOWBOARD</u> ASSOCIATION OF JAPAN(略称SAJ)とする。	英語表記を変更
(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。	(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。	
第2章 目的及び事業	第2章 目的及び事業	
(目的) 第3条 この法人は、わが国におけるスキー界及びスノーボード界を統轄し、代表する団体として、スキー及びスノーボード（以下「スキー等」という。）の普及及び振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。	(目的) 第3条 この法人は、わが国におけるスキー界及びスノーボード界を統轄し、代表する団体として、スキー及びスノーボード（以下「スキー等」という。）の普及及び振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。	
(事業) 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) スキー等に関する調査・研究 (2) スキー等に関する検定会・講習会等の開催 (3) スキー等に関する検定会・講習会等をこの法人に所属する加盟団体、所属団体、スキー学校等に委託して開催するもの (4) スキー等に関する指導者及び公認資格者の養成及び認定 (5) スキー等に関する全日本選手権大会の開催及びその他の競技会の開催 (6) スキー等に関する競技者の育成・強化 (7) スキー等に関する国際競技大会等及び世界指導者会議に対する代表者の選定並びに派遣 (8) スキー等に関する安全対策及び傷害防止対策の樹立並びにスキーヤー及びスノーボーダーの安全を図ること (9) スキー等の競技施設及び用具の認定 (10) スキー等に関する競技規則及び資格規程の制定 (11) スキー等に関する年鑑その他の刊行物の発行 (12) 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構及び公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構に対し、スキー界及びスノーボード界を代表して加盟すること (13) 国際スキー・スノーボード連盟(略称 FIS)、アジアスキー連盟(略称 ASF)及び国際スキー教育連盟(略称 ISI)に対して、日本のスキー界及びスノーボード界を代表し	(事業) 第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) スキー等に関する調査・研究 (2) スキー等に関する検定会・講習会等の開催 (3) スキー等に関する検定会・講習会等をこの法人に所属する加盟団体、所属団体、スキー学校等に委託して開催するもの (4) スキー等に関する指導者及び公認資格者の養成及び認定 (5) スキー等に関する全日本選手権大会の開催及びその他の競技会の開催 (6) スキー等に関する競技者の育成・強化 (7) スキー等に関する国際競技大会等及び世界指導者会議に対する代表者の選定並びに派遣 (8) スキー等に関する安全対策及び傷害防止対策の樹立並びにスキーヤー及びスノーボーダーの安全を図ること (9) スキー等の競技施設及び用具の認定 (10) スキー等に関する競技規則及び資格規程の制定 (11) スキー等に関する年鑑その他の刊行物の発行 (12) 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構及び公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構に対し、スキー界及びスノーボード界を代表して加盟すること (13) 国際スキー・スノーボード連盟(略称 FIS)、アジアスキー連盟(略称 ASF)及び国際スキー教育連盟(略称 ISI)に対して、日本のスキー界及びスノーボード界を代表し	

2026年度負担金算出表(請求用))

	加盟団体名 (各社・連盟)	一般 会員	小学生	中学生	高校生	大学生	合計 (小学生除き)	均等割 (A)	各加盟団体会員数/ 西日本ブロック平均登 録者数 (264人)	会員数割 個人負担	会員数割 (B)	2026年負担金 合計 (A+B)	2025年 負担金	対前年比	各加盟団体会員数/ 西日本ブロック平均登 録者数 (264人)	一人あたり 負担額 (円)
1	鳥取県	312	8	18	15	4	349	20,000	1.32	90	31,410	51,400	47,000	4,400		
2	島根県	497	2	5	18	3	523	20,000	1.98	90	47,070	67,000	60,900	6,100		
3	岡山県	647	11	9	6	6	668	20,000	2.53	80	53,440	73,400	67,200	6,200	2.00～	80
4	広島県	745	15	16	40	5	806	20,000	3.05	80	64,480	84,400	76,300	8,100	1.00～1.99	90
5	山口県	301	7	6	5	1	313	20,000	1.19	90	28,170	48,100	44,200	3,900	～0.99	100
6	香川県	191	3	5	6	11	213	20,000	0.81	100	21,300	41,300	38,700	2,600		
7	徳島県	178	12	7	5	6	196	20,000	0.74	100	19,600	39,600	37,500	2,100		
8	愛媛県	431	24	18	13	13	475	20,000	1.80	90	42,750	62,700	57,200	5,500	17団体の平均登録者数	264
9	高知県	227	4	7	9	5	248	20,000	0.94	100	24,800	44,800	42,100	2,700		
10	福岡県	240	3	1	5	2	248	20,000	0.94	100	24,800	44,800	41,300	3,500	西日本ブロックの加盟団体の平均会員 数は、R7.7月末で264人です。	
11	佐賀県	82	2	3	6	28	119	20,000	0.45	100	11,900	31,900	30,300	1,600		
12	長崎県	8	0	0	0	0	8	20,000	0.03	100	800	20,800	20,900	-100	この平均人数を超える団体は個人負担 額を90円とし、大きく超える団体は、8 0円、逆に少ない団体は100円を負担し てもらいます。	
13	熊本県	114	8	6	2	2	124	20,000	0.47	100	12,400	32,400	30,400	2,000		
14	大分県	123	2	3	2	3	131	20,000	0.50	100	13,100	33,100	31,900	1,200		
15	宮崎県	32	3	9	5	3	49	20,000	0.19	100	4,900	24,900	24,500	400		
16	鹿児島	11	0	0	2	1	14	20,000	0.05	100	1,400	21,400	21,400	0		
17	沖縄県	6	2	2	0	0	8	20,000	0.03	100	800	20,800	20,500	300		
	西日本ブロック	4,145	106	115	139	93	4,492	340,000			403,120	742,800	692,300	50,500		
参考	全国	54,491	1,467	2,652	2,248	2,470			264	←平均						

注) ・SAJ会員登録数は、2025年7月31日時点のものを記載しています。

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本県スポーツの振興につきましては、平素から格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、滋賀県で開催されました第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ 2025」の全日程が、10 月 8 日に終了いたしました。

本県の成績につきましては、天皇杯得点 1040.5 点を獲得し、天皇杯順位は 20 位、皇后杯得点 635.0 点を獲得し、皇后杯順位は 17 位となりましたことを取り急ぎご報告申し上げます。

目標としておりました「天皇杯順位 10 位」には届きませんでしたでしたが、本県が岡山国体以降一貫して好成績を維持しておりますのは、皆様方の応援をいただきながら、県代表選手、監督、スタッフがチーム一丸となり、力を結集して大会に臨んできた賜物であり、心から感謝申し上げます。

来年に青森県で開催される、第 80 回国民スポーツ大会においては、目標達成を果たすべく、本県の選手たちが一層の活躍を遂げられるよう、今後のさらなる取り組みをお願い申し上げます。

まずは書中をもってご報告とお礼を申し上げます。

謹白

令和 7 年 10 月 10 日

国スポ正式競技団体代表者各位

公益財団法人岡山県スポーツ協会

会 長

越 糸 孝 道



専務理事

石 川 孝 典



第79回国民スポーツ大会 総合成績

< 男女総合成績（天皇杯）>

総合成績			本大会		冬季	
順位	都道府県	得点	順位	小計	順位	小計
1位	滋賀	2488.00	1位	2325.00	7位	163.0
2位	東京	2354.33	2位	2179.33	5位	175.0
3位	京都	1730.50	3位	1634.50	17位	96.0
4位	大阪	1658.00	4位	1546.00	13位	112.0
5位	愛知	1598.83	5位	1460.83	9位	138.0
6位	神奈川	1505.50	7位	1381.50	10位	124.0
7位	埼玉	1451.00	9位	1329.00	11位	122.0
8位	千葉	1450.50	6位	1399.50	26位	51.0
9位	福岡	1442.50	8位	1342.50	16位	100.0
10位	兵庫	1338.00	13位	1144.00	4位	194.0
11位	北海道	1334.00	21位	930.00	1位	404.0
12位	岐阜	1298.00	12位	1213.00	19位	85.0
13位	佐賀	1279.50	10位	1249.50	34位	30.0
14位	福井	1278.50	11位	1221.50	22位	57.0
15位	三重	1138.00	14位	1090.00	27位	48.0
16位	静岡	1108.50	15位	1078.50	34位	30.0
17位	愛媛	1107.00	16位	1060.00	28位	47.0
18位	広島	1076.50	17位	1041.50	29位	35.0
19位	長野	1075.32	40位	697.82	2位	377.5
20位	岡山	1040.50	20位	971.50	21位	69.0
21位	栃木	1029.50	19位	976.50	24位	53.0
22位	鹿児島	1010.00	18位	980.00	34位	30.0
23位	青森	975.50	32位	812.00	6位	163.5
24位	奈良	955.50	22位	925.50	34位	30.0
25位	大分	930.00	23位	895.50	30位	34.5
26位	福島	922.00	25位	889.00	32位	33.0
27位	熊本	921.50	24位	891.50	34位	30.0
28位	新潟	907.50	36位	751.50	8位	156.0
29位	香川	901.00	29位	844.00	22位	57.0
30位	長崎	898.50	26位	878.50	43位	20.0
31位	宮崎	891.50	27位	861.50	34位	30.0
32位	石川	889.00	28位	855.00	31位	34.0
33位	宮城	888.00	30位	835.00	24位	53.0
34位	鳥取	859.00	31位	829.00	34位	30.0
35位	群馬	853.50	44位	657.50	3位	196.0
36位	山梨	829.50	37位	727.50	15位	102.0
37位	茨城	822.00	33位	789.00	32位	33.0
38位	和歌山	795.50	34位	775.50	43位	20.0
39位	山口	793.00	35位	773.00	43位	20.0
40位	富山	790.00	39位	708.00	20位	82.0
41位	岩手	779.00	43位	674.00	14位	105.0
42位	山形	767.00	42位	681.50	18位	85.5
43位	沖縄	746.00	38位	726.00	43位	20.0
44位	島根	720.00	41位	690.00	34位	30.0
45位	秋田	689.50	47位	567.50	11位	122.0
46位	高知	670.00	45位	650.00	43位	20.0
47位	徳島	602.50	46位	572.50	34位	30.0

< 女子総合成績（皇后杯）>

総合成績			本大会		冬季	
順位	都道府県	得点	順位	小計	順位	小計
1位	滋賀	1244.50	1位	1180.50	6位	64.0
2位	東京	1128.33	2位	1064.33	6位	64.0
3位	京都	986.00	3位	927.00	9位	59.0
4位	愛知	977.32	4位	900.32	5位	77.0
5位	大阪	909.00	5位	885.00	25位	24.0
6位	兵庫	861.00	8位	751.00	3位	110.0
7位	千葉	790.00	6位	770.00	28位	20.0
7位	神奈川	790.00	9位	734.00	11位	56.0
9位	岐阜	784.00	7位	752.00	20位	32.0
10位	福岡	739.50	12位	688.50	13位	51.0
11位	埼玉	733.50	10位	697.50	16位	36.0
12位	福井	706.50	11位	694.50	37位	12.0
13位	長野	685.82	28位	512.82	1位	173.0
14位	青森	666.00	20位	585.00	4位	81.0
15位	広島	662.50	14位	637.50	24位	25.0
16位	佐賀	659.50	13位	639.50	28位	20.0
17位	岡山	635.00	15位	603.00	20位	32.0
18位	北海道	625.00	38位	473.00	2位	152.0
19位	熊本	622.50	16位	602.50	28位	20.0
20位	愛媛	619.00	17位	599.00	28位	20.0
21位	三重	603.00	19位	586.00	36位	17.0
22位	奈良	602.00	18位	592.00	38位	10.0
23位	宮城	593.50	22位	566.50	23位	27.0
24位	静岡	588.50	21位	568.50	28位	20.0
25位	栃木	584.00	25位	548.00	16位	36.0
26位	香川	572.00	27位	540.00	20位	32.0
27位	鳥取	567.50	26位	547.50	28位	20.0
28位	大分	565.50	23位	555.50	38位	10.0
29位	山口	563.50	24位	553.50	38位	10.0
30位	山形	542.50	30位	506.50	16位	36.0
31位	新潟	542.00	37位	484.00	10位	58.0
32位	山梨	522.50	41位	459.50	8位	63.0
33位	宮崎	519.50	29位	509.50	38位	10.0
34位	鹿児島	519.00	31位	499.00	28位	20.0
35位	茨城	517.00	32位	494.00	26位	23.0
36位	富山	513.50	39位	466.50	15位	47.0
37位	福島	512.50	34位	489.50	26位	23.0
37位	群馬	512.50	41位	459.50	12位	53.0
39位	島根	502.00	33位	492.00	38位	10.0
40位	和歌山	494.50	36位	484.50	38位	10.0
41位	長崎	489.00	35位	489.00	47位	0.0
42位	沖縄	475.00	40位	465.00	38位	10.0
43位	岩手	461.50	44位	427.50	19位	34.0
44位	石川	459.00	43位	439.00	28位	20.0
45位	秋田	420.50	47位	370.50	14位	50.0
46位	高知	416.50	45位	406.50	38位	10.0
47位	徳島	396.50	46位	386.50	38位	10.0

総務本部報告

報告者 総務本部長 石田光徳

2025 年 7 月 19 日～2025 年 11 月 22 日における総務本部の活動状況を以下のとおり報告いたします。

1 会員登録状況

会員登録は 2025 年度が対前年度比 91.6% 2024 年度が対前年度比 96.6% 2023 年度 93.6%、2022 年度 95.2%と毎年 30～50 名程度の減少が続いていたが、今年度現在の登録状況は前年度比減少 39 人となっている。(柔 SC の 12 人が未登録)

【会員登録状況】 2025.11.16 現在登録数 (内昨年度実績)

・合計 640 人 (679) 94.3%

・一般 612 (647)、小学生 8 (11)、中学生 6 (9)、高校生 9 (6)、大学生 5 (6)

【資格登録状況】 【未登録／外数】

・運営指導員 24 【2】人、技術指導員 6 【1】人、TD8 【1】人、コーチ 5 【0】人、審判員 30 【4】人、セッター20 【1】人、計算員 4 【1】人、スキー指導員 133 【5】人、スキー準指導員 134 【9】人、ボード指導員 24 【0】人、ボード準指導員 34 【3】人、CC 指導員 2 【0】人、検定員 259 【8】人、パトロール 21 【1】人

2 大会の開催予定、参加状況

日付	行事名	場所	結果等
1/11-12 1/16-17	国スポ選考会 CC 国スポ選考会 AL	だいせん初トリザート	エントリー AL CC
1/21	OHK 杯ジュニアスキー選手権大会 (第1戦)	蒜山ベアバレースキー場	エントリー AL CC
2/1	OHK 杯ジュニアスキー選手権大会 (第2戦AL)	いぶきの里スキー場	エントリー AL
2/11	OHK 杯ジュニアスキー選手権大会 (第2戦CC)	蒜山ベアバレースキー場	エントリー CC
2/23	トヨペットカップ岡山県スキー・スノーボード大会	わかさ氷ノ山 鏡ヶ成スキー場	エントリー AL CC
3/1	OHK 杯ジュニアスキー選手権大会 (第3戦)	恩原高原スキー場	エントリー AL

3 会議等

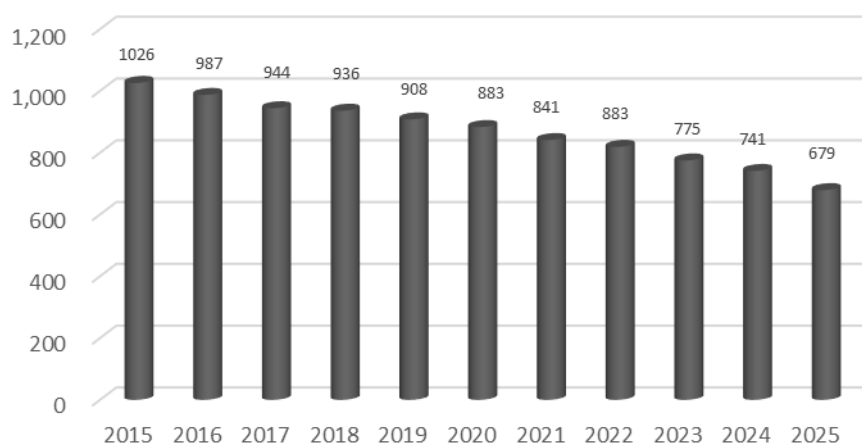
日付	行事名	場所	出席者等
7/26	岡山県スキー連盟事務担当者会議	瀬戸公民館+Zoom	理事長・本部長・理事
9/2	スキー岡山編集委員会	県連事務所	編集委員
9/7	西日本ブロック役委員会・評議員会	Zoom	春名副会長・理事長
9/13	3 本部長会議	Zoom	副会長・理事長・本部長
9/28	第 1 回 理事会	津山工業+Zoom	役員・理事
10/18	監査	県連事務所	監査・本部長・専門員
10/13	3 本部長会議	オンライン	副会長・理事長・本部長
10/18	S A J 評議員会	現地+Zoom	理事長
10/26	第 2 回 理事会	津山工業+Zoom	役員・理事
10/31	S A J 1 0 0 周年記念式典	東京ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ	
11/2	西日本ブロック協議会 競技関係者 SAJ 情報伝達会	Zoom	
11/9	3 本部長会議	オンライン	副会長・理事長・本部長
11/22	SAO 秋季評議員会	瀬戸公民館	役員・理事・評議員
12/XX	スキー場開き祭	大山・恩原	副会長・理事長
2026 1/14	第 3 回 理事会（現地）	だいせん WR	役員・理事
1～3 月	3 本部長会議	Zoom	副会長・理事長・本部長
4/XX	第 4 回 理事会	津山工業高校	役員・理事
4/XX	岡山県スポーツ協会加盟団体事務担当者会議	県総合グラウンド	
5/XX	SAJ 西日本ブロック評議員会		
5/XX	SAJ 事務担当者会議	Zoom	
5/XX	第 4 回 理事会	津山工業高校	役員・理事
6/XX	R7 年度 岡山県スポーツ協会定時評議員会	岡山プラザホテル	
6/XX	第 5 回 理事会	津山工業高校	役員・理事
7/XX	SAO 春季評議員会・功労者表彰 ・懇親会	ピュアリティまきび	役員・理事・評議員

4 スキー岡山発行について （ ）内昨年度実績

850 部作成（900 部）

広告協賛千円 750（730 千円） 企業 37（34）、クラブ 21（21）

SAO会員登録数 (人)



加盟団体の推移

年度	和暦	クラブ数	退会クラブ (加盟)
2008	平成20年	54	
2009	平成21年	54	
2010	平成22年	52	RSKスキー部、湯原体協
2011	平成23年	52	
2012	平成24年	52	
2013	平成25年	51	水島SC
2014	平成26年	49	学連、日生SC
2015	平成27年	49	
2016	平成28年	49	
2017	平成29年	49	
2018	平成30年	49	
2019	令和元年	47	阿波体協、B-Tree
2020	令和2年	47	
2021	令和3年	47	
2022	令和4年	43	フリーSC、アッシュ津山、カミシマSC、中央市場
2023	令和5年	42	美咲町体協
2024	令和6年	41	瀬戸内SC
2025	令和7年	41	
2026	令和8年	40	西栗倉体協

2025会員登録数

2025/11/16

			2025	正会員	前年差	男性	女性	未登録	一般	大学生	高校生	中学生	小学生以下
2	1	2	倉敷市役所スキークラブ	4	4	0	3	1	0	4	0	0	0
4	2	4	蒜山スキークラブ	90	87	-3	70	17	4	78	2	1	4
1	3	1	JR岡山スキークラブ	30	28	-2	17	11	4	28	0	0	0
2	4	2	三菱自工水島スキー山岳部	18	13	-5	10	3	6	12	0	0	0
3	5	3	加茂町体育協会スキー部	9	10	1	8	2	0	8	1	1	0
2	6	2	阿新スキークラブ	53	51	-2	44	7	1	49	0	1	0
3	8	3	奥津スキークラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	9	1	西大寺スキークラブ	5	5	0	3	2	0	5	0	0	0
1	10	1	岡山スキークラブ	28	27	-1	24	3	1	27	0	0	0
	11		岡山県高体連スキー部	7	12	5	9	3	1	7	0	5	0
1	12	1	NTT岡山スキークラブ	38	35	-3	31	4	4	35	0	0	0
2	13	2	玉島スキークラブ	13	13	0	13	0	0	13	0	0	0
1	14	1	株式会社三井E&Sホールディングススキー部	6	7	1	6	1	0	6	1	0	0
1	15	1	ヤングスキークラブ	8	8	0	7	1	0	8	0	0	0
3	16	3	津山アルペンスキークラブ	7	6	-1	6	0	1	6	0	0	0
3	17	3	第2シーハイルスキークラブ	36	33	-3	29	4	6	33	0	0	0
3	19	3	上齋原スキークラブ	25	24	-1	20	4	2	20	0	1	1
1	21	1	岡山県庁スキークラブ	11	8	-3	7	1	3	8	0	0	0
2	22	2	総社スキークラブ	11	10	-1	8	2	1	10	0	0	0
2	25	2	JFEスチール倉敷	4	3	-1	3	0	1	3	0	0	0
3	26	3	那岐山スキークラブ	11	12	1	9	3	1	12	0	0	0
3	27	3	鏡野スキークラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	29	3	スノーフレンドスキークラブ	4	4	0	2	2	0	4	0	0	0
	30		岡山県中学校体育連盟 スキー部	3	3	0	3	0	1	3	0	0	0
2	32	2	旭化成スキークラブ	23	22	-1	18	4	2	22	0	0	0
2	33	2	ENEOS(株)水島製油所	5	8	3	8	0	1	8	0	0	0
1	35	1	スキークラブ東備	4	4	0	3	1	0	4	0	0	0
4	36	4	真庭南スキークラブ	28	26	-2	24	2	2	26	0	0	0
3	37	3	西粟倉体協スキー部(退会)	4	0	-4	0	0	0	0	0	0	0
1	39	1	松下ビデオスキークラブ	15	14	-1	12	2	2	14	0	0	0
2	41	2	吉備スキークラブ	13	13	0	11	2	0	13	0	0	0
3	43	3	津山スキークラブ	44	43	-1	35	8	2	42	1	0	0
1	47	1	柔スキークラブ	12	0	-12	0	0	12	0	0	0	0
3	48	3	岡山教職員スキークラブ	39	36	-3	31	5	2	36	0	0	0
1	54	1	ライズレーシングクラブ	9	8	-1	6	2	1	7	0	0	0
2	56	2	倉敷スキークラブ	16	15	-1	13	2	1	15	0	0	0
2	57	2	ソロットスキークラブ	17	18	1	17	1	0	18	0	0	0
1	58	1	クラブコンペティゾーネ	8	9	1	9	0	0	8	0	0	0
1	59	1	チーム ドガンスラー	11	10	-1	8	2	1	9	0	0	1
1	60	1	Team M's Racing	6	7	1	5	2	0	7	0	0	0
3	61	3	I bisスキークラブ	4	4	0	4	0	0	4	0	0	0
	100		暫定会員登録										
				679	640	39	536	104	63	612	5	9	6

2026～2027年度岡山県スキー連盟役員名簿 (五十音順)

会長・副会長・監事

会長	末長 範彦(岡山SC)			
顧問	久保田宗男(蒜山SC)、瀬島 栄史(上斎原振興公社)			
副会長	中島 信二 (阿新SC)	春名 謙次 (NTT岡山SC)	山田 隆文 (蒜山SC)	
監事	長畑 弘道 (県庁SC)	前原 弘毅 (スノーフレント)		

理事

備前ブロック	岡崎 好修 (西大寺SC)	久保木美代子 (JR岡山SC)	佐々木二郎 (松下ビデオSC)	西江 智廣 (NTT岡山SC)	山本 達也 (Msレーシング)	
備中ブロック	石田 光徳 (旭化成SC)	古武 幹生 (吉備SC)	杉 一郎 (阿新SC)	森 俊行 (総社SC)	吉井 龍吾 (ソロツトSC)	
美作ブロック	川端 昌幸 (津山SC)	田淵 聖訓 (第二シーハイルSC)	中塚 雄祐 (教職員SC)	能勢 和典 (加茂体協SC)	村下 達也 (上斎原SC)	
真庭ブロック	上山 修 (真庭南SC)	丸山 昭博 (蒜山SC)	本守 竜二 (蒜山SC)			
高体連	牧野 浩也					
中体連	渡辺 陽介					

役員選出委員会推薦理事候補者

石原 元治 (蒜山SC)	道満 哲典 (教職員)	片山 輝幸 (高体連)	杉山 茂美 (上斎原SC)	武田 哲明 (玉島SC)	田邊 純孝 (阿新SC)	西 明彦 (高体連)
長谷川 賢也 (阿新SC)	古矢 久 (三菱自工SC)	丸山 義則 (蒜山SC)				

2026～2027年度岡山県スキー連盟 担当理事(案)

理事長 副理事長

牧野 浩也 (高体連)	石原 元治 (蒜山SC)
----------------	-----------------

総務本部

※専門委員を含まない

本部長	副本部長		担当理事			
石田 光徳 (旭化成SC)	西 明彦 (高体連)	西江 智廣 (NTT岡山SC)	岡崎 好修 (西大寺SC)	久保木美代子 (JR岡山SC)	武田 哲明 (玉島SC)	山本 達也 (Msレーシング)
担当理事						
道満 哲典 (教職員)						

教育本部

本部長	副本部長		担当理事			
森 俊行 (総社SC)	古矢 久 (三菱自工SC)	吉井 龍吾 (ソロツトSC)	上山 修 (真庭南SC)	川端 昌幸 (津山SC)	久保木美代子 (JR岡山SC)	古武 幹生 (吉備SC)
担当理事						
武田 哲明 (玉島SC)	田淵 聖訓 (第二シーハイルSC)	長谷川 賢也 (阿新SC)	丸山 昭博 (蒜山SC)			

競技本部

本部長	副本部長		担当理事			
能勢 和典 (加茂体協SC)	片山 輝幸 (高体連)	杉山 茂美 (上斎原SC)	杉 一郎 (阿新SC)	田邊 純孝 (阿新SC)	道満 哲典 (教職員)	西 明彦 (高体連)
担当理事						
丸山 義則 (蒜山SC)	村下 達也 (上斎原SC)	本守 竜二 (蒜山SC)	山本 達也 (Msレーシング)	渡辺 陽介 (中体連)		

強化指定選手選考基準

岡山県スキー連盟競技本部

1991 年 8 月 日制定

1995 年 10 月 日改定

2000 年 11 月 26 日改定

2005 年 7 月 3 日改定

2012 年 月 日改定

2012 年 7 月 29 日改定

2018 年 6 月 30 日改定

強化選手選考は、下記の基準により当人の意思確認のうえ、強化委員会より推薦し競技本部で決定、理事会で承認を得る。

1. 強化指定選手

①特別A指定〔特A〕

当該年度 ジュニアオリンピック、全中、インターハイ、高校選抜、全日本選手権大会および冬季国スポにおいて入賞の成績を収めた者はポイントに拘わらず、入賞の翌シーズン特別A指定選手とする。アルペンにおいては第1シードを獲得した者も翌シーズン特別A指定選手とする。

②A指定

当該年度 ジュニアオリンピック、全中、インターハイ、高校選抜、全日本選手権大会、冬季国スポにおいて30位以内の成績を収めた者、もしくは下記のポイントをクリアした者。アルペンにおいては高校・中学別で下記のランキングをクリアした者。

		成 年		高 校 生		中 学 生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
アルペン種目	SAJ ポイント	50	60	80	100	150	160
	SAJ ポイントランキング	—		100 位以内		100 位以内	
ノルディック種目	SAJ ポイント	100	120	120	150	150	200

③B指定

当該年度 全中、インターハイ、高校選抜、全日本選手権大会において70位以内の成績を収めた者。ノルディックにおいては国スポにおいて第1シードを獲得した者。もしくは下記のポイントをクリアした者。アルペンにおいてはジュニアオリンピックにおいて50位以内の成績を収めた者、もしくは高校・中学別で下記のランキングをクリアした者。

		成 年		高 校 生		中 学 生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
アルペン種目	SAJ ポイント	100	100	150	180	200	200
	SAJ ポイントランキング	—		200 位以内		200 位以内	
ノルディック種目	SAJ ポイント	130	150	150	170	200	250
	※リレー競技は、全国大会入賞の可能性のある者。						

④C指定

その他の選手は、当該年度 強化委員会が推薦。競技本部が承認し、ウェイティング（Waiting）選手として指定する。

2. 強化指定選手は、当連盟事業に参加し、平素から心身ともにレベルアップに努めること。

アルペン育成指定選手選考基準 ※ノルディック種目を除く

岡山県スキー連盟競技本部
2018年6月30日制定
2025年9月23日改訂

アルペン育成指定選手の選考は、下記の基準により保護者の意思確認のうえ、強化委員会より推薦し競技本部で決定、理事会で承認を得る。

1. アルペン育成指定選手

①育成A指定（対象：小学生から中学1年生）

前シーズン年度において、岡山県ジュニアのチャンピオンになった者、西日本小学生大会において3位以内の成績を収めた者、および岡山県ジュニアスキー大会において優勝した者。

前シーズン年度において、下記のポイントおよびランキングをクリアした者。

		小学生	
		男子	女子
アルペン種目	SAJ ポイント	250 以内	250 以内
	SAJ ポイントランキング	100 位以内	100 位以内

②育成B指定（対象：小学生から中学1年生）

前シーズン年度において、西日本小学生大会に出場し15位以内の者、岡山県ジュニアスキー大会において3位以内の成績を収めた者。

前シーズン年度において、下記のポイントクリアした者。

		小学生	
		男子	女子
アルペン種目	SAJ ポイント	350 以内	350 以内

③育成C指定（対象：小学生）

当該年度 強化委員会が推薦した者。

2. アルペン育成指定選手は、当連盟に加盟するとともに、各事業に参加し、平素から心身ともにレベルアップに努めること。

JOC ジュニアオリンピック選考方法

岡山県スキー連盟競技本部
2024 年 10 月 13 日制定

● K 1 カテゴリー選考レース

【 G S 】	第 1 選考レース	TOYOPET C u p 岡山県スキー・スノーボード競技大会 (恩原高原)
	第 2 選考レース	OHK 杯岡山県ジュニアスキー選手権大会 (第 1 戦) (ベアバレー)
	第 3 選考レース	OHK 杯岡山県ジュニアスキー選手権大会 (第 2 戦) (いぶきの里)
	第 4 選考レース	OHK 杯岡山県ジュニアスキー選手権大会 (第 3 戦) (恩原高原)
	第 5 選考レース	高松宮杯西日本アルペンスキー選手権大会 (だいせんホワイトリゾート)
【 S L 】	第 1 選考レース	高松宮杯西日本アルペンスキー選手権大会 (だいせんホワイトリゾート)
	第 2 選考レース	西日本小学生スキー大会 (だいせんホワイトリゾート)

● K 2 カテゴリー選考レース

【 G S ・ S L 】	選考レース	高松宮杯西日本アルペンスキー選手権大会 (だいせんホワイトリゾート)
---------------	-------	---------------------------------------

※例年どおりであれば、西日本ブロック選出 (男子 6 ・ 女子 2)

事業案

1. 事業名 おかやま次世代アスリート事業（クロスカントリースキー体験会）
2. 目的 国民スポーツ大会の正式競技であるクロスカントリースキーの普及や競技者確保、ジュニア世代の競技の入口となることを目的として体験会を実施する。
3. 主催 岡山県スキー連盟
4. 日時 令和8年1月31日（土）9時30分～12時00分
5. 会場 ひるぜんベアバレースキー場
住所 岡山県真庭市蒜山本茅部644-105
6. 事業内容 大会のコースにて、クロスカントリースキーのレース体験をしてもらう。
7. 募集期間 令和7年12月1日（月）～12月19日（金）
8. 募集対象 県内在住の小・中学生
9. 募集人数 20人
10. 参加費 無料
11. 募集方法 岡山県スキー連盟ホームページ、岡山県スポーツ協会ホームページによる募集
12. 申し込み方法 チラシ（後日作成予定）記載のQRコードからの申し込み
13. その他 用具が必要な場合はレンタルを行う。

【担当】岡山県スキー連盟クロスカントリー強化委員会
片山 輝幸

事業案

1. 事業名 おかやま次世代アスリート事業（アルペンスキー体験会）
2. 目的 国民スポーツ大会の正式競技であるアルペンスキーの普及や競技者確保、ジュニア世代の競技の入口となることを目的として体験会を実施する。
3. 主催 岡山県スキー連盟
4. 日時 令和8年2月1日（日）9時30分～12時00分
5. 会場 いぶきの里スキー場
住所 岡山県新見市千屋花見1336-1
6. 事業内容 初心者向けのポールセットによりコースを作り、スキーレースの体験をしてもらう。
7. 募集期間 令和7年12月1日（月）～12月19日（金）
8. 募集対象 県内在住の小・中学生（一人でリフトに乗り滑って下ることができる人）
9. 募集人数 20人
10. 参加費 無料
11. 募集方法 岡山県スキー連盟ホームページ、岡山県スポーツ協会ホームページによる募集
12. 申し込み方法 チラシ（後日作成予定）記載のQRコードからの申し込み
13. その他 参加者は安全のためヘルメット（自転車用可）、手袋、ゴーグルを着用。

【担当】岡山県スキー連盟アルペン強化委員会
山本 達也

2026 クロスカントリースキー

たいいけん会



**参加費
無料**



**リフトはいらない！
「歩くスキー」にチャレンジ！**

©岡山県「ももっち」

実施内容

【日時】令和8年1月31日（土）9:00～12:00

【会場】ひるぜんペアバレースキー場

岡山県真庭市藤山本茅部 644-105

【参加対象】岡山県内在住の小・中学生 20人

※申し込み多数の場合は先着順

【問い合わせ先】岡山県スキー連盟クロスカントリー強化委員会

E-mail: teru2946@icloud.com

担当 片山輝幸

【募集期間】令和7年12月1日（月）～12月19日（金）

【参加費】無料（傷害保険料込み、駐車料は別途必要）

【準備物】スキーウェア、手袋、ゴーグル

※スキー用具一式レンタル可

【申込方法】QRコードから申込

QR
コード

【注意事項】

- ・積雪状況等により中止の場合はメールにてお知らせします。
- ・詳細は後日メールにてお知らせします。
- ・保護者の方は、スキー場施設で連絡がとれるようにしておいてください。
- ・事業中の傷害については、応急救置は行いますが責任は負いません。
- ・12月26日（金）までにメールにて抽選結果、事業の詳細をお知らせします。

1. 教育本部組織
理事改選により変更
津山SC：川端昌幸さん(新理事)スクール部に所属
2. スキー・スノーボード研修会
 - ・日程は、別紙参照
 - ・鳥取県殿の研修会日程により昨年より1週間遅い日程となります。
 - ・研修単位規定の厳守を、引き続きお願いします。
スキー(実技4単位:8H)、ボード(実技3単位:6H)
 - ・理論は、eラーニング等で個人視聴前提
SAJより10月17日にHP内の研修課題及び受検者ハンドブックの内容をアップデートとの連絡有り
研修会参加予定及び各検定受検予定の方は、視聴お願い致します。
 - ・昨年度から引き続き、教程書籍を割引販売予定でしたが
SAJ会員で有れば直接注文可能になりました。
つきまして、県連販売は今回無しと致します。
(別紙参照)
今年度も研修会参加者リフト券割引チケットの販売を行います。
(¥7,000:2日券)+保証料 ¥500:大山杵トリグと交渉済み
※通常販売価格(¥10,000:2日券+保証料¥500)
3. スキー・スノーボード技術選
日程は、別紙(調整済み)
鳥取県との合同開催で今回は岡山県主管で行う
来期から、宿泊費用(11,000)及びリフト代(1,000)等の値上げにより
参加費用の改定を行う

レギュラー	: 5,000→7,000(+2,000)
オフソー一般	: 4,000→6,000(+2,000)
オフソ中学	: 2,000→3,000(+1,000)

 ※別紙料金表参照
4. 恩原教室の件
日程は、スキー場から通達有り(スクール部に連絡済み)
例年通り受講対象者 小学生以上の、未経験者及び初心者を対象
(中級対象コースは、無し)
インターネットによる事前予約制
予約締め切り日程をスクール部で確認中
5. 準指導員検定会について
昨年度の受検者数(スキー6名、ボード3名)レベルの確保をお願いします。
将来、受検者の人数の低迷により下記県連との合同開催も検討
来期の開催日程については、鳥取県と調整済み(鳥取、島根、山口、四国合同開催)
日程は、別紙参照
昨年と同様1日開催とする(天候不良による予備日1日)
6. 各講習会(特別講習会、養成講習会等、技術強化検定受検コース)参加料の改定について
上記同様宿泊費用及びリフト代の値上げにより参加費の改定を行う

・特別講習会、養成講習会	: 3,500→4,000
・技術強化検定受検コース	: 3,500→4,000
・1級暫定会員登録料	: 各500UP(SAJ登録料改定による)

 ※別紙料金表参照
7. 昨年からの新行事について
 - ・スキー、スノーボード教室(来年度も継続計画)
1日開催、年齢性別、SAJ会員及びクラブ所属問わず
参加者の各指向性を重視した講習会としたい。
技術レベルは、SAJレベルで4級～1級程度
有資格者に指導の場を増やしたい(特に近々で資格取得された方)
参加者を増やすためのPR活動をお願いしたい
 - ・スノーボードブライズテスト(来年度も継続計画)
来年度は、県連役員のみで計画
検定コート閉鎖については、コート使用中のみでの簡易閉鎖でスキー場に了承済み
参加者移動中等コート不使用時は、コートを解放願います
8. SAJ功労指導員及び西日本指導員会功労顕彰者推薦の件
 - ・SAJ功労指導員、名誉検定員
(10/31期限) : 10月26日現在申請者無し
 - ・西日本功労顕彰
(9/30期限) : 13名の該当者を西B指導員会に推薦し承認済み ※次頁参照

9. その他

- レディースキャンプ、テクニカルキャンプ
昨年通り2部門で開催
(初心者レベルは、スキー、スノーボード教室開催のため無しとする)
- ジュニア検定について
検定内容が、ターンチャレンジとタイムチャレンジまた、スーパージュニア認定となっています。
昨年から引き続き県連主管での検定は行いませんので、各クラブ主催での検定会については
SAJ規定通りの運営をお願いします。
また、上記内容での合格証は異なりますので県連に事前連絡願います。
各級のバッジは従来の物と同一です。

• 2026年度西日本指導員会功労顕彰者(13名)

1	額田 高臣	カタ 勘弥	NTT岡山
2	大西 昌晴	オニ マサル	県庁SC
3	湯浅 真	アサ マコト	岡山SC
4	奥田 真治	オダ シンジ	JR岡山SC
5	甲本 龍平	コホ リュウヘイ	津山SC
6	梶 俊策	カシ シュンタ	IbisSC
7	岡本 博志	オホモ ヒロシ	岡山SC
8	関 正治	セキ マサル	西栗倉体協スキー部
9	吉田 聖	ヨシダ アキラ	真庭南SC
10	長畑 弘道	カハタ ヒロミチ	県庁SC
11	藤岡 正之	フジoka マサキ	教職員SC
12	洪桑 和子	フナキワ カズコ	真庭南SC
13	林 正和	ハヤシ マサカズ	NTT岡山

2025年度 会 計 決 算（案）

（2024年8月1日～2025年7月31日）

2025年10月18日
岡山県スキー連盟

I 収入の部

	予算額	決算額	増 減	備 考
1 会 費	2,039,500	1,941,500	△98,000	
(1)加盟金	-	0	-	
(2)加盟団体負担金	820,000	820,000	-	41クラブ
(3)資格登録料	758,000	683,000	△75,000	
①会員登録	746,000	683,000	△63,000	
⑤暫定会員	12,000	0	△12,000	
(4)資格公認料	60,000	60,000	-	蒜山スキー学校
①スキー学校公認料	60,000	60,000	-	
(5)ポイント登録料	61,500	60,500	△1,000	
①SAO	61,500	60,500	△1,000	
(6)その他	340,000	318,000	△22,000	
①指導員会費	340,000	318,000	△22,000	
2 補助金	3,917,700	3,776,738	△140,962	
(1)SAJ還付金	1,207,700	1,066,738	△140,962	還付金：18,438
①研修会還付金	0	0	-	
②スキー安全会還付金	19,000	18,438	△562	
③会員登録還付金	850,400	786,000	△64,400	
④競技資格登録還付金	12,000	11,600	△400	
⑤教育資格登録還付金	305,600	232,400	△73,200	302,800円-232,400円=70,400円→教育本部収支へ計上
⑥SAJポイント登録還付金	20,700	18,300	△2,400	
(2)スポーツ協会等補助金	0	0	-	
③ユニホーム補助金	0	0	-	
(3)国スポ強化補助金	2,051,000	2,051,000	-	
①国スポ成年強化	1,078,000	1,078,000	-	1,371 千円入金(3-1、3-2)内訳調整
②ジュニア育成・強化	973,000	973,000	-	680 千円入金(3-1、3-2)内訳調整
(4)その他助成金等	659,000	659,000	-	
②トップアスリート派遣事業	200,000	200,000	-	
③ハイパフォーマンス支援事業	100,000	100,000	-	
⑥次世代アスリート事業	359,000	359,000	-	
3 競技本部収入	280,000	293,195	13,195	
(1)大会参加料	110,000	80,000	△30,000	国スポ80千円
④国スポ参加料	110,000	80,000	△30,000	
(2)合宿参加料	170,000	213,000	43,000	アルペン115千円、クロス98千円、コン0千円
①アルペン	100,000	115,000	15,000	
②クロス	70,000	98,000	28,000	
③コンバインド	0	0	-	
(5)競技部雑収入	0	195	195	
①利子・寄付金	0	195	195	
4 教育本部行事収入	3,642,015	4,069,651	427,636	
(1)行事収入	3,172,500	3,081,990	△90,510	
①講習会・研修会	2,419,500	2,286,990	△132,510	
②選手権	235,000	187,000	△48,000	
③ジュニア・親子	0	0	-	
④検定会	518,000	608,000	90,000	
⑤外部要請	0	0	-	
(2)教育登録・公認料	269,500	511,600	242,100	
①指導員会(会費・ネーム代)	7,500	0	△7,500	
②公認料	0	33,000	33,000	
③暫定会員登録料	12,000	44,000	32,000	
④ハッジワッペン(準指)・級別ハッジ	250,000	434,600	184,600	

(3)教育部雑収入	200,015	476,061	276,046	
①雑収入(書籍販売)	60,000	335,400	275,400	
②利息	15	661	646	
③寄付金	140,000	140,000	-	
5 特定収入	1,633,000	1,534,642	△98,358	
(1)公認後援料・賛助会費等	60,000	51,800	△8,200	
①恩原高原スキー・ボード教室	30,000	21,800	△8,200	恩原高原スキー・ボード教室109名
②賛助会員	30,000	30,000	-	上斎原振興公社賛助会費30千円
(2)広告料	710,000	710,000	-	
①スキー岡山広告料	710,000	710,000	-	
(3)大会協賛金	300,000	300,000	-	OHKスポーツ振興財団100千円、岡山トヨペット200千円
①OHK杯	100,000	100,000	-	OHKスポーツ振興財団
②トヨペットカップ	200,000	200,000	-	岡山トヨペット:300千円入金→100千円は広告費
(4)事業収入	563,000	472,842	△90,158	県大会144千円、クラブ対抗110千円
①県体(国スポ予選)	191,000	144,000	△47,000	エントリー費
②トヨペットカップ	181,000	110,000	△71,000	エントリー費
③ジュニア育成事業	36,000	9,500	△26,500	OHK杯500円×19名
④普及啓発事業	155,000	209,342	54,342	ゼッケンエコバック他、次世代アスリート事業還付
6 雑収入	10,000	75,490	65,490	
(1)寄附金	0	0	-	
(2)雑収入	10,000	75,490	65,490	会員交流会余剰金、レターバックライト立替分戻し 預金利息他
(3)特別基金取崩し	0	0	-	
単年度小計	11,522,215	11,691,216	169,001	単年度会計(対予算)=11,691,216
7 繰越金	4,566,656	4,566,656	-	
(1)前年度繰越金	4,566,656	4,566,656	-	
収入合計	16,088,871	16,257,872	169,001	

2025年度 会 計 決 算 (案)

(2024年8月1日～2025年7月31日)

2025年10月18日
岡山県スキー連盟

Ⅱ 支出の部

	予算額	決算額	差額	備 考
1 負担金	755,600	728,200	▲ 27,400	
(1)SAJ負担金	200,000	200,000	-	
(2)西日本負担金	77,200	77,200	-	西日本ブロック協議会67千円、 西日本強化10千円
①西日本ブロック協議会	67,200	67,200	-	
②西日本選手強化負担金	10,000	10,000	-	
(3)県スポーツ協会負担金	93,000	93,000	-	県S協会費70千円、県S協賛助会費10千円、 青少年育成会3千円
①県スポーツ協会会費	70,000	70,000	-	
②県スポーツ協会賛助会費	10,000	10,000	-	
③青少年育成会費	3,000	3,000	-	
④岡山のスポーツ広告料	10,000	10,000	-	
(4)SAJ公認・登録料	5,400	-	▲ 5,400	シクミネットによる申請
①会員登録	5,400	-	▲ 5,400	暫定会員登録
(5)資格公認料	40,000	40,000	-	
①スキー学校公認料	40,000	40,000	-	
(6)その他	340,000	318,000	▲ 22,000	
①指導員会費	340,000	318,000	▲ 22,000	
2 競技本部経費	4,859,000	3,928,119	▲ 930,881	
(1)大会支出経費	110,000	80,000	▲ 30,000	
②国スポ参加料・保険料	110,000	80,000	▲ 30,000	
(2)選手役員派遣費	1,859,000	1,251,351	▲ 607,649	国スポ592千円、全日ジュニア0千円
①国スポ本戦	1,000,000	591,601	▲ 408,399	国スポ本戦
②ハイパフォーマンス支援	100,000	100,750	750	
③全日本ジュニア	200,000	-	▲ 200,000	
④トップアスリート	200,000	200,000	-	
⑤次世代アスリート事業	359,000	359,000	-	
(3)選手強化費	2,750,000	2,493,259	▲ 256,741	
①アルペン	1,400,000	1,406,294	6,294	
②クロス	1,350,000	1,086,965	▲ 263,035	
③コンバインド	-	-	-	
(4)ポイント管理費	10,000	-	▲ 10,000	
①SAOポイント管理	10,000	-	▲ 10,000	
(5)競技部経費	130,000	103,509	▲ 26,491	
①機材購入費・管理費等	60,000	47,300	▲ 12,700	
②競技本部会議費等	10,000	-	▲ 10,000	
③役員派遣費(SAJ等)	50,000	55,439	5,439	
④競技部雑費	10,000	770	▲ 9,230	
3 教育本部経費	3,295,300	3,584,120	288,820	
(1)行事運営費	2,905,800	2,773,876	▲ 131,924	
①講習会・研修会	1,465,300	1,570,028	104,728	
②選手権	958,500	870,571	▲ 87,929	
③検定会	482,000	333,277	▲ 148,723	
④外部要請	-	-	-	
(2)教育登録・公認料	269,500	394,400	124,900	
①登録料(準指・C級)	7,500	-	▲ 7,500	
③暫定会員登録料	12,000	18,600	6,600	
④ハッジワッペン(準指)・級別ハッジ	250,000	375,800	125,800	
(3)教育部諸経費	120,000	415,844	295,844	
①事務通信費・旅費・会議費	20,000	15,899	▲ 4,101	
②備品費・書籍	50,000	110,436	60,436	
③雑費(SAJ書籍購入)	50,000	289,509	239,509	

4 事務費	1,084,680	975,826	▲ 108,854	
(1)事務消耗費	30,000	14,485	▲ 15,515	インク代、感光体トナー、コピー用紙、封筒等
①インク代・感光体・トナー	15,000	9,697	▲ 5,303	輪転機ロールマスター、PRインク
②コピー用紙・コピー代	10,000	3,820	▲ 6,180	
③その他事務用品	5,000	968	▲ 4,032	
(2)通信運送費	174,680	177,740	3,060	電話料金(インターネット利用料含む) 150,459、 切手・はがき・文書発送料27,281
①電話料金	80,000	85,779	5,779	R6.8月～R7.7月
②HPサーバーレンタル・IT回線使用料	64,680	64,680	-	R6.7月～R7.6月
③切手・葉書	15,000	8,101	▲ 6,899	
④郵便・宅急便	15,000	19,180	4,180	
(3)印刷費	750,000	682,000	▲ 68,000	スキー岡山(950冊) 682,000、 封筒・賞状(原紙) 0
①スキー岡山印刷費	700,000	682,000	▲ 18,000	
②県連封筒・記録票	50,000	-	▲ 50,000	封筒
(4)会議費	30,000	26,391	▲ 3,609	理事会・評議員会など会場費
①理事会・評議員会	30,000	23,375	▲ 6,625	Zoomアカウント(年間)、Wifi料金、会場費
②その他会議費	0	3,016	3,016	役員選出委員会会議費(全体・備中)
(5)慶弔費	100,000	75,210	▲ 24,790	
5 旅費	100,000	81,630	▲ 18,370	
(1)対外会議旅費	100,000	81,630	▲ 18,370	SAJ評議員会、西日本ブロック会議旅費等
①SAJ評議員会・理事会	-	-	-	WEB会議
②西日本ブロック会議	-	-	-	〃
③SAJ事務担当者会議	-	-	-	〃
④その他会議	100,000	81,630	▲ 18,370	兵庫県スキー連盟90周年記念式典参加費 佐賀県スキー連盟50周年記念式典参加費
6 事務局費	838,000	845,944	7,944	
(1)賃借料	790,000	799,254	9,254	事務所660千円、光熱費115,154
①事務所賃借料	660,000	660,000	-	
②水道・電気光熱費	100,000	115,154	15,154	
④駐車料金等	30,000	24,100	▲ 5,900	
(2)送金手数料	8,000	4,290	▲ 3,710	各種金融機関振込手数料
(3)備品費	40,000	42,400	2,400	総務PC(中古)
7 事業経費	1,260,000	1,229,543	▲ 30,457	
(1)大会運営費	1,160,000	1,126,779	▲ 33,221	
①県体(国スポ予選)	900,000	990,833	90,833	2県合同負担金: 92,556
②トヨペットカップ	200,000	84,946	▲ 115,054	役員宿泊費のみ
③西日本アルペン	60,000	51,000	▲ 9,000	交通費補助@3,000×17人
(2)ジュニア育成事業	100,000	102,764	2,764	
①OHK小学生大会	100,000	102,764	2,764	AL1～3戦、XC1～2の5大会分、賞状原紙
②恩原ジュニア教室	-	-	-	
(3)普及啓発事業	-	-	-	
①製品製作費	-	-	-	
②広報費	-	-	-	
8 雑支出	5,000	-	▲ 5,000	
(1)雑費	5,000	-	▲ 5,000	
9 積立金	-	-	-	積立金計=2,968,123
(1)周年行事積立金	-	-	-	1,539,384+0=1,539,384円
(2)ユニフォーム積立金	-	-	-	494,005+(0-0)=494,005円
(3)特別会計積立金	-	-	-	934,734-0+0=934,734円
単年度小計	12,197,580	11,373,382	▲ 824,198	
10 繰越金	3,891,291	4,884,490	993,199	
(1)年度繰越金	3,891,291	4,884,490	993,199	各本部 通帳残高 合計
支出合計	16,088,871	16,257,872	169,001	総収入(見込み)-単年度支出額

監 査 報 告 書

岡山県スキー連盟

会 長 末 長 範 彦 様

岡山県スキー連盟規約第12条により、2025年度の会計及び会務についての監査を令和7年10月18日に岡山県スキー連盟事務局において実施いたしました。

監査では例年のとおり、会計帳簿、証票書類の照合や、その内容確認などをおこない、会計処理が適切であるかについて確認すると共に、会務の運営状況についても適切であるか確認いたしました。

その結果、会計事務は適切に処理されておりますが、会務の運営状況につきましては目的には合致しているものの、継続的な支出超過の状況であることを確認いたしましたので皆様にご報告いたします。

今後も、県連の直面するスキー環境はますます厳しくなる事と思われませんが、さらなる事務の効率化や簡素化、また会務の合理化などにより、財政の健全化に取り組まれますよう要望いたしまして監査報告とさせていただきます。

令和7年10月18日

監 事

前原 弘毅



監 事

長畑 弘道



2026年度 会計予算
(2025年8月1日～2026年7月31日)

2025年11月22日
岡山県スキー連盟

I 収入の部

	前年度決算額	11/22予算額	前年度決算増減	備 考 (2026年度)
1 会 費	1,941,500	2,661,000	719,500	
(1)加盟金	0	0	0	
(2)加盟団体負担金	820,000	1,200,000	380,000	40クラブ分(1万円UP,▲1;西栗倉体協退会)
(3)資格登録料	683,000	1,022,500	339,500	
(3-1)会員登録	683,000	1,022,500	339,500	会費500円UP
(3-5)暫定会員登録	0	0	0	
(4)資格公認料	60,000	60,000	0	藤山スキー学校
(4-1)スキー学校公認料	60,000	60,000	0	
(5)ポイント登録料	60,500	60,500	0	
(5-1)SAOポイント	60,500	60,500	0	
(6)その他	318,000	318,000	0	
(6-1)指導員会費	318,000	318,000	0	
2 補助金	3,776,738	3,734,700	△42,038	
(1)SAJ還付金	1,066,738	1,066,700	△38	
(1-1)研修会還付金	0	0	0	
(1-2)安全会還付金	18,438	18,400	△38	
(1-3)会員登録還付金	786,000	786,000	0	
(1-4)競技資格登録	11,600	11,600	0	
(1-5)教育資格登録	232,400	232,400	0	
(1-6)SAJポイント登録	18,300	18,300	0	
(2)スポーツ協会等補助金	0	0	0	
(2-3)ユニホーム補助金	0	0	0	
(3)国スポ強化補助金	2,051,000	1,997,000	△54,000	
(3-1)国スポ成年強化	1,078,000	1,024,000	△54,000	スポーツ協会内示額
(3-2)ジュニア育成・強化	973,000	973,000	0	スポーツ協会内示額
(4)その他助成金等	659,000	671,000	12,000	
(4-2)トップアスリート派遣事業	200,000	200,000	0	
(4-3)ハイパフォーマンス支援事業	100,000	112,000	12,000	スポーツ協会内示額
(4-6)次世代アスリート事業	359,000	359,000	0	
3 競技本部収入	293,195	270,100	△23,095	
(1)大会参加料	80,000	100,000	20,000	国スポ100千円
(1-4)国スポ参加料	80,000	100,000	20,000	国スポ本戦
(2)合宿参加料	213,000	170,000	△43,000	アルペン100千円、クロス70千円、コン0千円
(2-1)アルペン	115,000	100,000	△15,000	
(2-2)クロス	98,000	70,000	△28,000	
(2-3)コンバインド	0	0	0	
(5)競技部雑収入	195	100	△95	

4 教育本部行事収入	4,069,651	3,784,500	△285,151	
(1)行事収入	3,081,990	3,169,000	87,010	
(1-1)講習会・研修会	2,286,990	2,296,000	9,010	
(1-2)選手権	187,000	321,000	134,000	
(1-3)ジュニア・親子	0	0	0	
(1-4)検定会	608,000	552,000	△56,000	
(1-5)外部要請	0	0	0	
(2)教育登録・公認料	511,600	415,000	△96,600	
(2-1)指導員会(会費・ネーム代)	0	0	0	
(2-2)各種公認料	33,000	21,000	△12,000	
(2-3)暫定会員登録料	44,000	44,000	0	
(2-4)バッジ・ワッペン(準指)・級別バッジ	434,600	350,000	△84,600	
(3)教育部雑収入	476,061	200,500	△275,561	
(3-2)雑収入(書籍販売)	335,400	60,000	△275,400	
(3-3)利息	661	500	△161	
(3-4)寄付金	140,000	140,000	0	
5 特定収入	1,534,642	1,450,000	△84,642	
(1)公認後援料・賛助会費等	51,800	55,000	3,200	
(1-1)恩原高原スキー・ホート教室	21,800	25,000	3,200	上齋原スキー教室125名
(1-2)賛助会員	30,000	30,000	0	上齋原振興公社賛助会費30千円
(1-3)大会公認料	0	0	0	(公認大会なし)
(2)広告料	710,000	710,000	0	
(2-1)スキー岡山広告料	710,000	710,000	0	
(3)大会協賛金	300,000	300,000	0	OHKスポーツ振興財団100千円、岡山トヨペット200千円
(3-1)OHKジュニア選手権	100,000	100,000	0	OHKスポーツ振興財団
(3-2)トヨペットカップ	200,000	200,000	0	岡山トヨペット300千円入金→100千円は広告料へ
(4)事業収入	472,842	385,000	△87,842	県大会145千円、クラブ対抗110千円
(4-1)県体(国スポ予選)	144,000	145,000	1,000	
(4-2)トヨペットカップ	110,000	110,000	0	
(4-3)ジュニア育成事業	9,500	10,000	500	
(4-4)普及啓発事業	209,342	120,000	△89,342	
6 雑収入	75,490	10,000	△65,490	
(1)寄附金	0	0	0	
(2)雑収入	75,490	10,000	△65,490	
(3)積立金積崩し	0	0	0	
単年度小計	11,691,216	11,910,300	219,084	
7 繰越金	4,566,656	4,884,490	317,834	
(1)前年度繰越金	4,566,656	4,884,490	317,834	
収入合計	16,257,872	16,794,790	536,918	

2026年度 会計予算
(2025年8月1日～2026年7月31日)

2025年11月22日

Ⅱ 支出の部

岡山県スキー連盟

	前年度決算額	11/22予算額	前年度決算増減	備 考 (2026年度)
1 負担金	728,200	734,400	6,200	
(1)SAJ負担金	200,000	200,000	0	
(2)西日本負担金	77,200	83,400	6,200	西日本ブロック協議会73.4千円
(2-1)西日本ブロック協議会	67,200	73,400	6,200	
(2-3)西日本選手強化賛助金	10,000	10,000	0	
(3)県スポーツ協会負担金	93,000	93,000	0	県体協会費70千円、県体協賛助会費10千円、青少年育成会3千円
(3-1)県スポーツ協会費	70,000	70,000	0	
(3-2)県スポーツ協会賛助会費	10,000	10,000	0	
(3-3)青少年育成会費	3,000	3,000	0	
(3-4)岡山のスポーツ広告費	10,000	10,000	0	
(4)SAJ公認・登録料	0	0	0	
(4-1)会員登録	0	0	0	暫定会員
(5)資格公認料	40,000	40,000	0	
(5-1)スキー学校公認料	40,000	40,000	0	
(6)その他	318,000	318,000	0	
(6-1)指導員会費	318,000	318,000	0	
2 競技本部経費	3,928,119	4,612,000	683,881	
(1)大会支出経費	80,000	100,000	20,000	
(1-5)国スポ参加料・保険料	80,000	100,000	20,000	
(2)選手役員派遣費	1,251,351	1,671,000	419,649	
(2-1)国スポ本戦	591,601	800,000	208,399	
(2-2)ハイパフォーマンス	100,750	112,000	11,250	収入額112千円
(2-3)全日本ジュニア	0	200,000	200,000	
(2-4)トップアスリート	200,000	200,000	0	収入額200千円
(2-5)次世代アスリート事業	359,000	359,000	0	収入額359千円
(3)選手強化費	2,493,259	2,750,000	256,741	
(3-1)アルペン	1,406,294	1,400,000	△6,294	
(3-2)クロス	1,086,965	1,350,000	263,035	
(3-3)コンバインド	0	0	0	
(4)ポイント管理費	0	10,000	10,000	
(4-1)ポイント管理費	0	10,000	10,000	
(5)競技部経費	103,509	81,000	△22,509	
(5-1)機材購入費・管理費	47,300	48,000	700	
(5-2)競技本部会議費	0	1,000	1,000	
(5-3)役員派遣費	55,439	31,000	△24,439	
(5-4)競技部雑費	770	1,000	230	
3 教育本部経費	3,584,120	3,463,580	△120,540	
(1)行事運営費	2,773,876	3,049,980	276,104	
(1-1)講習会・研修会	1,570,028	1,667,700	97,672	
(1-2)選手権	870,571	991,280	120,709	
(1-4)検定会	333,277	391,000	57,723	
(1-5)外部要請	0	0	0	
(2)教育登録・公認料	394,400	318,600	△75,800	
(2-1)登録料(準指・C級)	0	0	0	
(2-3)暫定会員登録料	18,600	18,600	0	
(2-5)バッジワッペン(準指)・級別バッジ	375,800	300,000	△75,800	
(3)教育部諸経費	415,844	95,000	△320,844	
(3-1)事務通信費・旅費・会議費	15,899	20,000	4,101	
(3-2)備品費・書籍	110,436	25,000	△85,436	
(3-3)雑費(SAJ書籍購入)	289,509	50,000	△239,509	

4 事務費	975,826	1,021,680	45,854	
(1)事務消耗費	14,485	30,000	15,515	インク代、感光体トナー、コピー用紙
(1-1)インク代・感光体・トナー	9,697	15,000	5,303	
(1-2)コピー用紙・コピー代	3,820	10,000	6,180	
(1-3)その他事務用品	968	5,000	4,032	
(2)通信運送費	177,740	179,680	1,940	電話料金(インターネット利用料含む)150千円 切手・はがき・文書発送料30千円
(2-1)電話料金	85,779	85,000	△779	
(2-2)HP・IT回線使用料	64,680	64,680	0	
(2-3)切手・葉書	8,101	15,000	6,899	
(2-4)郵便・宅急便	19,180	15,000	△4,180	
(3)印刷費	682,000	682,000	0	スキー岡山682千円、 封筒0千円
(3-1)スキー岡山印刷費	682,000	682,000	0	印刷部数(900→850部)
(3-2)県連封筒等	0	0	0	
(4)会議費	26,391	30,000	3,609	
(4-1)理事会・評議員会	23,375	30,000	6,625	Zoom年間契約、Wifi料金、会場費
(4-2)祝賀会その他	3,016	0	△3,016	
(5)慶弔費	75,210	100,000	24,790	
5 旅費	81,630	100,000	18,370	
(1)対外会議旅費	81,630	100,000	18,370	SAJ評議員会、西日本ブロック会議旅費等
(1-1)SAJ評議員会	0	50,000	50,000	東京日帰り
(1-2)西日本ブロック会議	0	10,000	10,000	広島で開催
(1-3)SAJ事務担当者会議	0	0	0	
(1-4)その他会議	81,630	40,000	△41,630	100周年祝賀会ほか
6 事務局費	845,944	798,000	△47,944	
(1)賃借料	799,254	780,000	△19,254	事務所660千円、光熱費100千円 コピーリース0千円、駐車場20千円
(1-1)事務所賃借料	660,000	660,000	0	
(1-2)水道・電気光熱費	115,154	100,000	△15,154	
(1-4)駐車料金等	24,100	20,000	△4,100	
(2)送金手数料	4,290	8,000	3,710	各金融機関振込手数料
(3)備品費	42,400	10,000	△32,400	
7 事業経費	1,229,543	724,000	△505,543	
(1)大会経費	1,126,779	624,000	△502,779	
(1-1)県体(国スポ予選)	990,833	524,000	△466,833	日程見直し(3日→2日)
(1-2)トヨペットカップ	84,946	100,000	15,054	AL恩原,CC鏡ヶ成
(1-3)西日本アルペン	51,000	0	△51,000	旅費支給を廃止
(2)ジュニア育成事業	102,764	100,000	△2,764	
(2-1)OHKジュニア選手権	102,764	100,000	△2,764	
(2-2)恩原ジュニアスキー教室	0	0	0	
(3)普及啓発事業	0	0	0	
(3-1)製品製作費	0	0	0	
(3-2)広報費	0	0	0	
8 雑支出	0	5,000	5,000	
(1)雑費	0	5,000	5,000	
9 積立金	0	300,000	300,000	1933.12.17創立
(1)周年行事積立金	0	300,000	300,000	周年行事積立金:1539+300=1839千円
(2)ユニホーム積立金	0	0	0	ユニホーム積立金:494+0=494千円
(3)特別会計積立金	0	0	0	特別会計積立金:935+0=935千円
単年度小計	11,373,382	11,758,660	385,278	
前年度繰越金支払				
9 繰越金	4,884,490	5,036,130	151,640	
(1)翌年度繰越金	4,884,490	5,036,130	151,640	
支出合計	16,257,872	16,794,790	536,918	

議案4 岡山県スキー連盟の名称変更について

変更を提案する理由

上部団体である「公益財団法人全日本スキー連盟」が以下「参考1」に示す理由により、「公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟」と名称変更することが決定した。

これに伴い、所属団体である「岡山県スキー連盟」についても「S A J」と同じく、スノーボードをスキー競技の一種目として扱うのではなく、本連盟名称にスノーボードを明記することで、外部へのアピールにつながるとの考えから「岡山県スキー・スノーボード連盟」に名称変更することを提案します。

提案内容

日本語表記	岡山県スキー・スノーボード連盟
英語表記	SKI AND SNOWBOARD ASSOCIATION OF OKAYAMA
英語略称	SAO
変更新月日	2026年8月1日

以上

参考1 | 公益財団法人全日本スキー連盟が名称変更を決定した際の提案理由と審議結果

1998年に開催された長野オリンピックでスノーボード競技が正式競技になって以降、スノーボードは全世界においてスノースポーツとして十分に認知された。スノーボード競技の昨今の日本人選手の活躍は目覚ましく、選手の知名度も非常に高く、メディアが積極的に取り上げるテーマにもなった。このことから、スノーボードをスキー競技の一種目として扱うのではなく、連盟名称にスノーボードを明記することで、外部へのアピールにつながるとの考えから公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟への名称変更が提案された。

2025年10月19日の全日本スキー連盟評議員会にて承認され、2026年8月1日からの名称変更が決定した。

参考2 | FIS

上部団体である国際スキー連盟は、2022年に名称をINTERNATIONAL SKI AND SNOWBOARD FEDERATIONに変更されており、略称はFISのままとなっている。

議案 5 岡山県スキー連盟規約の改正について

連盟規約の改正を提案する理由

上部団体である、「公益財団法人全日本スキー連盟」が令和 8 年 8 月 1 日から「公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟」と名称変更することが決定した。

これに伴い、「岡山県スキー連盟規約」に記載のある「公益財団法人全日本スキー連盟」の呼称を「公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟」に改正する必要がある。また、下記の項目について改正をしたいので、連盟規約19条第3項及び第32条に基づき、規約の改正を提案します。

提案内容

- 1 上位団体である「全日本スキー連盟」が「全日本スキー・スノーボード連盟」と名称変更することに伴い上位団体の名称を変更する。
- 2 上位団体の表現にあわせ、「スキー及びスノーボードによるスポーツ」を「スキー等」の呼称に統一する。
- 3 連盟規約第21条第4項で「連盟に新規加盟をしようとする団体（以下「新規加盟団体」という。）」と定めているが、第25条及び第26条では別の呼称になっているので「新規加盟団体」の呼称に統一する。
- 4 第 8 条第 3 項、第 1 9 条、第 2 0 条第 5 項、第 2 2 条第 4 項、第 2 6 条第 4 号の一部に使用されている「、」を「，」に統一する。
- 5 連盟規約は、上位団体の名称変更日に合わせ、令和 8 年 8 月 1 日に改正する。
- 6 議案 4 が承認された場合、「岡山県スキー連盟」を「岡山県スキー・スノーボード連盟」に名称変更し、併せて英語表記と英語略称について明確化する。

以上

岡山県スキー・スノーボード連盟規約（改正案）

・新旧対照表

現 行	改 正 案	備 考
	令和8年8月1日改正（改正日の追記）	提案5
第1条 本連盟は、岡山県スキー連盟（以下「連盟」という。）と称する。	第1条 本連盟は、岡山県スキー・スノーボード連盟（以下「連盟」という。）と称し、英語表記は <u>SKI AND SNOWBOARD ASSOCIATION OF OKAYAMA</u> （略称 <u>SAO</u> ）とする。	提案6 （4号議案承認時）
第3条 連盟は、公益財団法人全日本スキー連盟に加盟し、岡山県下のスキー及びスノーボードによるスポーツ（以下、これらを「スキー」という。）界を統括し、競技及びスキー技術の普及発展を図り、（以下略）	第3条 連盟は、公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟に加盟し、岡山県下のスキー及びスノーボードによるスポーツ（以下、これらを「スキー等」という。）界を統括し、競技及びスキー等技術の普及発展を図り、（以下略）	提案1 提案2 提案2
第4条 （略）アマチュアスキー団体（以下略）	第4条 （略）アマチュアスキー等団体（以下略）	提案2
第5条 （略） （1）スキーに関する（略） （2）スキーに関する（略） （3）前号までに掲げる外、スキーに（以下略）	第5条 （略） （1）スキー等に関する（略） （2）スキー等に関する（略） （3）前号までに掲げる外、スキー等に（以下略）	 提案2 提案2 提案2
第6条 （略） 2 連盟役員は、公益財団法人全日本スキー連盟の登録会員でなければならない。	第6条 （略） 2 連盟役員は、公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟の登録会員でなければならない。	提案1
第8条 （略） 3 評議員は、（以下略）	第8条 （略） 3 評議員は、（以下略）	提案4
第19条 評議員会は、（以下略）	第19条 評議員会は、（以下略）	提案4
第20条 （略） 3 （略） （1）（略）公益財団法人全日本スキー連盟の（略） 5 （略）顧問、（以下略）	第20条 （略） 3 （略） （1）（略）公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟の（略） 5 （略）顧問、（以下略）	提案1 提案4
第22条 （略） 4 （略）ただし、（以下略）	第22条 （略） 4 （略）ただし、（以下略）	提案4
第25条 （略）加盟申請団体の加盟（略） （注）この加盟申請団体の加盟に（略）	第25条 （略）新規加盟団体の加盟（略） （注）この新規加盟団体の加盟に（以下略）	提案3 提案3
第26条 連盟に加盟しようとする団体（略） （4）役員の役職名、（以下略）	第26条 新規加盟団体（略） （4）役員の役職名、（以下略）	提案3 提案4
第29条 （略） 2 （略）公益財団法人全日本スキー連盟登録規程に定める（以下略）	第29条 （略） 2 （略）公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟登録規程に定める（以下略）	提案1
第34条 （略）公益財団法人全日本スキー連盟の登録会員（以下略）	第34条 （略）公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟の登録会員（以下略）	提案1

岡山県スキー・スノーボード連盟規約（改正案）

昭和 56 年 6 月 28日施行
平成 2 年 12 月 2日改正
平成 3 年 12 月 7日改正
平成 18 年 3 月 26日改正
平成 19 年 11 月 23日改正
平成 22 年 7 月 25日改正
平成 22 年 11 月 28日改正
平成 27 年 7 月 26日改正
令和 3 年 5 月 17日改正
令和 8 年 8 月 1日改正

第 1 章 名 称

第 1 条 本連盟は、岡山県スキー・スノーボード連盟（以下「連盟」という。）と称し、英語表記は SKI AND SNOWBOARD ASSOCIATION OF OKAYAMA（略称 SAO）とする。

第 2 章 事 務 所

第 2 条 本連盟は、事務局を岡山市に置く。

第 3 章 目 的 ・ 組 織

第 3 条 連盟は、公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟に加盟し、岡山県下のスキー及びスノーボードによるスポーツ（以下、これらを「スキー等」という。）界を統括し、競技及びスキー等技術の普及発展を図り、あわせて第 4 条に規定する所属団体相互の連携を図ることを目的とする。

第 4 条 連盟は、岡山県下におけるアマチュアスキー等団体を以って組織する。（以下、連盟を組織する団体を「所属団体」という。）

第 4 章 事 業

第 5 条 連盟は次の事業を行う。

- （1）スキー等に関する調査、研究及び指導奨励
- （2）スキー等に関する各種競技会の開催及び競技者の育成・強化
- （3）前号までに掲げる外、スキー等に関する必要な事項

書式を変更：下線

書式変更：タブ位置： 0.57 字，左揃え

書式変更：タブ位置： 0.5 字，左揃え

書式変更：タブ位置： 0.57 字，左揃え

第5章 役員

第6条 連盟は、次の役員（以下、「連盟役員」という。）を置く。

- (1) 会長 1名 (2) 副会長 3名以内 (3) 評議員 所属団体 各1名
- (4) 理事長 1名 (5) 副理事長 2名以内 (6) 常任理事 若干名
- (7) 理事 30名以内（理事長、副理事長及び常任理事を含む。）
- (8) 監事 2名

2 連盟役員は、公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟の登録会員でなければならない。

第7条 会長及び副会長は、それぞれ別に定める役員選出委員会規程に定める役員選出委員会において候補者を選出し、評議員会において決定する。

2 会長は、連盟を統括し、代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある場合にはその職務を代行する。

第8条 評議員は、各所属団体がそれぞれ1名を選出する。

2 評議員会は評議員会を構成し、評議員会は、第19条に規定する重要事項を決議する。

3 評議員は、~~第6条第1項第1号~~、第2号及び第4号から第8号までに規定する役員を兼任することはできない。

第9条 理事は、別に定める役員選出委員会規程に定める役員選出委員会において候補者を選出し、評議員会において決定する。

2 前項の選出に規定する外、役員選出委員会において10名以内の候補者を選出することができる。

3 理事は、評議員会の決議に従ってその会務を行う。

第10条 常任理事は、理事が互選する。

2 常任理事は、理事長を補佐し、日常の会務を行う。

第11条 理事長及び副理事長は、それぞれ理事が互選する。

2 理事長は、理事会を統括し、会務を行う。

3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故ある場合にはその職務を代行する。

第12条 監事は、評議員会において決定する。

2 監事は、連盟の会計及び会務を監査する。

3 監事は、評議員会及び理事会に出席して、その監査報告を行い、関連意見を述べることができる。

第13条 第6条に規定する役員の任期は、すべて2年間とする。ただし、再任を妨げない。

第14条 補欠指名せられた第6条に規定する役員の任期は、その前任者の残存期間とする。

第6章 顧問、参与、及び名誉会長

第15条 顧問は、評議員会の決議を得て会長が委嘱する。

2 顧問は、連盟の重要事項について会長の諮問に応じる。

第16条 参与は、理事会の決議を得て会長が委嘱する。

2 参与は、連盟の重要事項について会長の諮問に応じる。

第 17 条 名誉会長は、評議員会の決議を得て会長が委嘱する。

2 名誉会長は、連盟の運営事項について評議員会及び理事会の諮問に応じる。

第 18 条 第 15 条第 1 項、第 16 条第 1 項及び前条第 1 項にそれぞれ規定する顧問、参与及び名誉会長の任期は、定めない。

第 7 章 評議員会

第 19 条 評議員会は、次の各号に定める事項を審議決定する。

- (1) 役員の決定
- (2) 事業計画及び事業報告並びに予算及び決算
- (3) 規約の改廃
- (4) 前号までに掲げる外、重要な議決事項

第 20 条 評議員会は会長が招集し、年 2 回（春秋）開催する。ただし、次の各号にいずれかに該当する場合には、その日から起算して 30 日以内の間に臨時評議員会の開催を要する。

- (1) 会長が臨時評議員会の開催を必要と判断する場合
- (2) 理事会又は常任理事会が臨時評議員会の開催を議決する場合
- (3) 所属団体の 3 分の 1 以上の団体から、議案を示して臨時評議員会の開催請求がある場合

2 評議員会の議長は、評議員の中から選出する。

3 評議員会は、評議員定数の半数以上の出席（次の第 1 号に定める代理人及び第 4 号に定める委任状提出者を含む。）を得て開催できる。

(1) 評議員が評議員会に出席できない場合には、その所属団体の評議員が、公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟の登録会員である当該所属団体構成員の内から 1 名の代理人（以下「代理人」という。）を指名し、出席させることができる。ただし、連盟役員を指名することはできない。

(2) 代理人は、評議員会における発言権及び議決権を有する。

(3) 第 1 号に規定する代理人は評議員会の議長になることはできない。

(4) 評議員又は代理人が評議員会に出席できない場合には、議長あてに委任状を提出できる。

4 評議員会の議決は、その評議員会に出席した評議員と代理人の過半数の同意により決する。ただし、賛否が同数となる場合には、議長が決する。

5 評議員会は、必要に応じ、第 15 条第 1 項、第 17 条第 1 項又は第 34 条第 1 項に規定する顧問、~~一~~名誉会長又は専門委員会委員を招集し、諮問できる。

第 8 章 理 事 会

第 21 条 理事会は、第 6 条第 1 項第 1 号、第 2 号及び第 4 号から第 8 号までの役員（以下、これらを「理事會役員」という。）をもって構成し、次の各号に定める会務を行う。

- (1) 当面する業務の処理
- (2) 評議員会決議事項の執行
- (3) 規約、諸規程及びその他の決定事項の周知徹底
- (4) 連盟に新規加盟をしようとする団体（以下「新規加盟団体」という。）の仮承認
- (5) 専門委員会委員の選任
- (6) 前号までに掲げる外、必要な事項

第22条 理事会は、必要に応じ会長が招集し、理事長が議長となる。

- 2 理事会は、理事会役員数の3分の1以上の出席（次項に規定する委任状提出者を含む。）を得て開催できる。
- 3 理事会役員が理事会に出席できない場合には、議長あてに委任状を提出できる。
- 4 理事会の議決は、その理事会に出席した理事会役員の過半数の意見により決する。ただし、賛否が同数となる場合には、議長が決する。
- 5 理事会は、必要に応じて参与、名誉会長又は専門委員会委員を招集し、諮問できる。

第9章 常任理事会

第23条 常任理事会は、第6条第1項第1号、第2号及び第4号から第6号までの役員をもって構成し、常任会務を行う。

- 2 前項に規定する外、評議員会・理事会において負託を受けた業務を行う。

第24条 常任理事会は、必要に応じ会長が招集し、理事長が議長となる。

第10章 所属団体

第25条 次条に規定する手続きを経た新規加盟団体加盟申請団体の加盟、第27条に規定する所属団体の任意脱退又は第28条に規定する所属団体の強制脱退若しくは会員の除名は、評議員会の決議による。

(注) この新規加盟団体加盟申請団体の加盟については、その申請時期と評議員会開催時期との関係から、当該団体の活動に支障が生じないようにするため、第21条第4号の規定により、理事会における仮承認措置が講じられているものである。

第26条 新規加盟団体連盟に加盟しようとする団体は、次の各号に定める事項を明記した申込書に、別に定める入会金を添え、会長あてに申し出る。

- (1) 名 称
- (2) 事務局所在地
- (3) 活動を拠点とするブロック（備前、備中、美作、真庭各ブロック）
- (4) 役員の役職名、氏名及び住所
- (5) 規 約
- (6) 会員数

(7) 連盟評議員の氏名

第 27 条 連盟を脱退しようとする所属団体は、その理由を附し、その旨会長に申し出る。

第 28 条 所属団体が連盟規約の規定に著しく違背することとなる場合、又は不都合な行為があると認められる場合には、その所属団体を評議員会の決議を得て脱退させることができる。

第 29 条 所属団体は、別に定める負担金を毎年、年度始めに納入しなければならない。

2 前項に規定する負担金の納入に合わせてその所属会員は、公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟登録規程に定める会員登録をしなければならない。

第 11 章 会 計

第 30 条 連盟は、次の各号に定める収入をもって運営する。

(1) 所属団体負担金

(2) 会員登録料

(3) 補助金、寄付金及び賛助会費

(4) 各事業収入(各種参加料、及び講習料等)

第 31 条 本連盟の会計年度は、毎年 8 月 1 日に始まり、翌年 7 月 31 日に終わる。

第 12 章 規約の改廃

第 32 条 規約の改廃は、評議委員会において、その評議委員会に出席した評議員と代理人の 3 分の 2 以上の同意により決する。

第 13 章 補 則

第 33 条 連盟は、別に定める賛助会員設置規程の定めにより、賛助会員を置くことができる。

第 34 条 連盟は、別に定める専門委員会規程の定めにより、必要に応じて専門委員会を設け、公益財団法人全日本スキー・スノーボード連盟の登録会員である会員の内から、専門委員を任命することができる。

第 35 条 連盟は、会長及び副会長並びに理事の選出について役員選出委員会を設ける。

第 36 条 この連盟規約を施行する過程において、第 7 条第 1 項、第 33 条及び第 34 条にそれぞれ規定されている規程の外、細則又は規程などが必要と判断される場合には、第 19 条第 3 号に規定する手続きを経て、そのいずれか又はいずれをも定めることができる。

附 則

この改正規約は、令和 8-3 年 8-5 月 1-1-7 日から施行する。